

中部圏域の1市4町で取り組んでいく

# 「定住自立圏構想」の 協定書(案)がまとまりました。

※問合せ先:総合政策室(☎22-8161 / ☎22-8144)

今、中部圏域の倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、および北栄町の1市4町では、地方圏における定住の促進を目的とした「定住自立圏構想」の取り組みを進めています。これまで本市と各町との間で、「定住自立圏構想」に基づき連携する取り組み(協定項目)について協議を重ね、このたび「定住自立圏の形成に関する協定書(案)」がまとまりました。

現在、この協定書(案)に対する皆さんのご意見を募集しています。

## 「定住自立圏構想」とは

日本の総人口は、今後30年間で急速に減少すると見込まれています。特に、地方圏においては、都市圏に比べて、急激な人口減少と少子化・高齢化の進行が予想されています。

「定住自立圏構想」とは、このような状況を踏まえて、平成20年12月に総務省が制定した「定住自立圏構想推進要綱」に基づく構想です。その内容は、まず、圏域の中心的な役割を担う意思を表明した市(中心市)と、その周辺にある市町村(周辺市町村)が自らの意思で、「二対一の協定」を締結し、「定住自立圏」を形成します。

そして、協定を締結した中心市と周辺市町村は、その圏域の中で連携し、役割分担を

行いながら、圏域の住民生活に必要な機能を確保するとともに、それぞれが持っている自然環境、歴史、文化などの地域資源を有効に活用して、地域の活性化を図ります。

その結果、都市圏に負けない魅力溢れる地方圏を創り、都市圏から地方圏への人口の流れを創り出すとともに、地方圏から都市圏への人口の流出を防ぎ、定住を促進するといふものです。

本市をはじめ、中部圏域の各町においても、今後30年間で急激な人口減少と少子化・高齢化の進行が予想されています。

人口減少、少子化・高齢化に伴い生じるさまざまな課題に対応し、魅力ある中部圏域を創っていくためには、今以上に1市4町が連携・協力していく必要があると考え

ています。

## これまでの経過

人口減少、少子化・高齢化の対策として、中部圏域の1市4町が、この「定住自立圏構想」に取り組んでいくため、昨年1月22日に、総務省から本市が、「定住自立圏構想」の先行実施団体の決定を受けました。そして、「定住自立圏構想推進要綱」に基づき、3月9日に「中心市宣言」を行い、中部圏域に必要な生活機能の確保について、中心的な役割を担う意思を表明しました。

その後、各市町において協定項目の検討を行い、7月31日に開催した「定住自立圏構想」推進会議(首長会議)で、協定項目の候補(14項目)を決定しました。

この決定を受けて、協定項



▲ワーキンググループ(教育環境部会)の様子

目に基づく具体的な取り組みを検討するため、各市町の職員で構成するワーキンググループ(作業部会)を設置し、関係機関、団体などの職員との意見交換、現場視察を行いました。ながら、検討作業を進めてきました。

そして、12月3日に開催した「定住自立圏構想」推進会議で、本市と各町との間で締結する協定項目(13項目)を合意しました。

## 協定項目の内容

「定住自立圏構想」推進会議で合意した協定項目(13項目)は、次のとおりです。

なお、本市と各町との間で締結する協定項目は、「定住自立圏構想推進要綱」に基づき、3つの視点(生活機能の強化・結びつきやネットワークの強

## 「定住自立圏の形成に関する協定書(案)」について ご意見をお寄せください。

本市と各町との「定住自立圏の形成に関する協定書(案)」は、本庁舎をはじめ、関金庁舎、各地区公民館、および本市のホームページでご覧になれます。

### ■提出方法

ご意見は、「意見記入用紙」、または住所、お名前、電話番号を明記した任意の様式により、直接持参、または郵送、ファックス、電子メールでお寄せください。

なお、「意見記入用紙」は、次の閲覧・入手場所で入手できます。

### ■閲覧・入手場所

総合政策室(本庁舎4階)／支所管理課(関金庁舎1階)／各地区公民館／倉吉市ホームページ

■募集期限：1月25日(月)

### ■提出・問合せ先

倉吉市役所総合政策室(〒682-8611 倉吉市葵町722番地)／☎22-8161／FAX 22-8144／E-mail:kikaku@city.kurayoshi.lg.jp)

- 化・圏域マネジメント能力の強化(ご)に、少なくとも1つ以上の項目を規定することとされています。
- 【生活機能の強化】
  - 認知症に係る支援体制の整備
  - 子育て支援体制の整備、および充実
  - 鳥取県中部子ども支援センターの維持、および教育相談体制の充実
  - 体育施設の機能の維持、および強化
  - 広域観光体制の充実、および強化による広域観光の推進
- 【結びつきやネットワークの強化】
  - 企業誘致の推進
  - 公共交通に係る効率的な運行体系の確立
  - 地産地消の推進
  - 空き家バンクの連携などによる移住の促進
  - 広報活動の連携による広域的な情報提供
- 【圏域マネジメント能力の強化】
  - 合同研修会の開催
  - 専門人材の確保および活用
  - 人事交流の実施

## 定住自立圏構想推進の流れ



倉吉市で

つながることに、  
こだわるドコモ。

あしたにつながる

検索

手のひらに、明日をのせて。

NTT docomo

ドコモは、お客様の声を取り入れながら、定期的な調査や24時間ネットワークのチェックなど、日々、倉吉市のFOMAエリア充実に徹底的に取り組んでいます。つながることに、とことんこだわるドコモです。



あしたにつながる  
品質リポート

# 素晴らしいふるさとを

## いつも心に...

### ★活動報告

いま、東京を拠点に音楽活動を展開しています。同じく鳥取県出身のサクソ奏者、藤田淳之介と一緒に『門藤(かどふじ)』というユニットを結成し、東京を中心に、もちろん地元鳥取にも頻りに帰って来てライブ活動を積極的に行っています！

### ★ふるさとへの想い

ふるさとでのライブはやっぱり格別で、温かいお客様に囲まれてのアツいライブは、毎回すごく思い出深いものになります。そんな



▲ライブで演奏する門脇さん

な故郷倉吉は、鳥取を離れて活動していても、いつでも自分の心の中に生きています。

素晴らしいこの地を大切に、今後も地元での音楽活動はぜひ続けていきたいですね！

### ★今年の目標

2010年は、去年同様、チャレンジをし続ける一年にしたいと思っています。まだまだヴァイオリンの新たな魅力を伝えきれていないと思うので！早く砂丘で野外ステージ組んで、盛り上がるライブを実現させていきたいと思います！  
今年も応援よろしくお願ひします！



▲メジャーデビューアルバム「アオイホシ」  
品番：VICL-63377  
価格：¥2,000  
発売元：ビクターエンタテインメント

ながた としひろ

### 永田 俊紘さん

倉吉西高校卒業後、アメリカのPierce College (ピアース・カレッジ) で英語力を磨き、帰国後は上智大学国際教養学部へ進学。大学卒業と同時にプロ野球球団(現在は阪神タイガース)へ入団し、国際業務担当として活躍中。



1983年生まれ  
牡羊座/B型

## キラ★リ

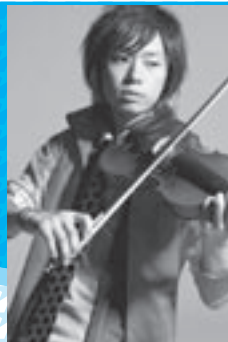
### 特別編

※今回は、倉吉市出身で県内外で活躍している人を取り上げました。

かどわき だいすけ

### 門脇 大輔さん

2003年にインストゥルメンタルユニット『Clacks』でデビュー。解散後の2008年には藤田淳之介(サクソ)と2人で『門藤(かどふじ)』を結成。現在は、ソロヴァイオリン奏者、門脇大輔ストリングスとしても活躍中。



1981年生まれ  
山羊座/A型

### ★活動報告

昨シーズンは、ピッチャーのジェフ・ウイリアムス、スコット・アッチソンの2人の通訳と、球団の国際業務を主に担当しました。

甲子園球場での緊迫した試合の中、マウンドに立つ両ピッチャーとコーチや野手の間に入っての通訳は、高校球児として甲子園を目指した自分にとって、貴重な経験であり、通訳として、野球人として多くを勉強でき、毎試合成長できていると感じます。自分を信頼してくれた彼らの活躍には非常に感謝しています。

### ★ふるさとへの想い

私にとっては、『ふるさとへの想い』両親への想い』です。

高校を卒業してすぐにアメリカへ行かせてくれたことに、一生恩を感じながら

### 故郷を感じ

### ★今年の目標

生きていこうと思います。倉吉で、テレビを通じていつも自分の姿を楽しみにしてくれている両親を、できる限り喜ばせていきたいと思っています。

今年の目標は、外国人選手が活躍し、チーム一丸となって『優勝』することです。今年は新しい外国人ピッチャーが来る予定なので、国際担当兼通訳として、自分のできる限り日本の良さ、日本の野球の素晴らしいを伝えていきたいと思っています。今季はぜひ、倉吉からも、甲子園球場へ応援においでください。

▲マウンドで通訳する永田さん



### 仕事を愛し

### 親に感謝